



# きらめく風

すすんで学ぶ子ども 心ゆたかな子ども 体をきたえる子ども

## 秋

旭町小学校長 道山 正史

今年は昨年と比べ、ずいぶん早い時期から涼しくなりました。10月いっぱいがクールビズの期限でしたが、それを待たず背広・ネクタイの人が当たり前になりました。その分、紅葉も昨年よりかなり早く、というよりも例年通りの季節に各地で色づいています。

学校では、運動会、5年生の岩井移動教室が無事にすみ、10月28日(火)に行われた6年生の連合音楽会出演を皮切りに芸術系、文化系の行事が目白押しです。5年生の岩井移動教室は1日目、2日目と雨に降られましたが、子供たちは予定の変更にも落ち着いて行動しながら楽しみ、学び、歓声をあげていました。来年の武石移動教室ではこの移動教室で身につけたことをもとに、さらに立派な姿を見せてくれるはずです。

連合音楽会では、6年生がすばらしい歌声と合奏を披露しました。一つ一つの音やリズムを大切に一生懸命ステージで歌い演奏している姿に誇りを感じました。そして11月21日(金)・22日(土)の学芸会。各学年とも本格的な練習が始まりました。このように仲間と共に協力して一つのことを成し遂げようとするのが、社会性をはぐくむことを目的とした活動であることは間違いありません。

また、本校では読書旬間を設定し、子供たちが本をもっと好きになり、たくさん読むことができるようにブックトークやお話の会などを行っています。読書が人生を豊かにしてくれることについて異論を挟む人はまずいないと思います。インターネットで様々な情報を手に入れることはできても、感性を磨き、感受性を豊かにするにはやはり紙に印刷された本でじっくりと字を追い、自分の頭や心で感じる必要があると私は思います。あの紙をめくる手の動きやぬくもりといったものがきっとそうさせるのだと考えています。

文化的な行事や読書について書きましたが、秋はもちろんそれだけではありません。紅葉狩り、食欲、スポーツ等々様々な形容詞と共に表現される「秋」を存分に感じたいと思います。

